

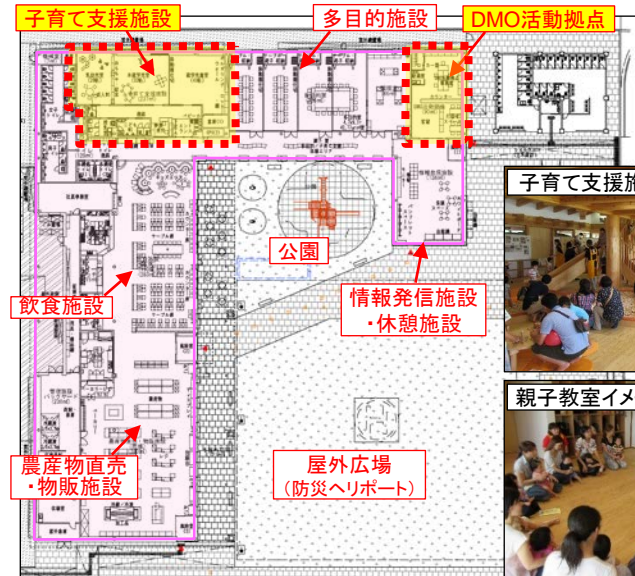
道の駅「(仮称)にっしん」(愛知県日進市) 企画概要 <新設> H30重点

- 日進市は、子育て世代を中心に人口が増加しており、広い駐車場を備え、気軽に車で立ち寄りやすい道の駅に子育て支援機能を持たせ、子育て支援ニーズ拡大への対応を図る。
- DMOが、「道の駅」を拠点に地域の観光情報を集約、情報発信・案内し、地域資源を生かした価値創造へとつなげる。
- 日進市は、人命救助活動部隊の活動拠点を第2次緊急輸送道路沿いに設置し防災体制の充実を図る。
- 農業振興計画「田園フロンティアパーク構想(基本計画)」の拠点施設に隣接して整備することで、相乗効果を図る。

子育て応援

《子育て応援に取り組む施設イメージ》

※指定管理者制度の活用により、収益部門(飲食・物販施設等)との一体経営により管理運営を行う



安心して子育てできる
環境整備の拡充

- 昭和55年から平成27年までの間に、人口が約2.1倍の87,622人にまで増加。
- 子ども数や転入率は、国や愛知県平均を大きく上回る水準。
- 将来人口推移をみると、2060年(平成72年)には110,764人になると予測。

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
(仮称)にっしん	愛知県	日進市	主要地方道 瀬戸大府東海線	新設	平成35年度 (予定)	一体型 (予定)



次世代観光拠点の形成(DMO)

- 「にっしん版DMO」(設立準備中)を「道の駅」に設置し、観光まちづくりの拠点として展開。



道の駅を拠点に観光情報を集約、情報発信



[観光資源: 愛知牧場]



[観光資源: 岩崎城]

<提案の先駆性・ポイント>

- 広い駐車場を備えた道の駅に子育て支援施設(屋内)を設置し、相談等を実施することで、増加する子育て世代のニーズ対応、孤立化の防止や情報発信能力の向上を図る。
- 緊急輸送道路沿いに人命救助機能(防災拠点)を位置付け、南海トラフ地震を始めとする大規模災害に備えた防災体制を充実。
- DMOや多目的施設を中心に、子育て世帯、学生、NPO等の市民が集い、情報交換や交流・連携の促進されることで、地域の観光やイベント等、地域をPRする情報発信拠点として地域づくりを推進。

<実施内容>

- 子育て支援施設、広場・公園、授乳室、子ども用トイレ、オムツ替え台、思いやり駐車場(妊婦優先駐車スペース)等の整備
- 保護者の子育て相談「出張広場」の開催、遊び場の提供、親子の学びの提供として講座・市内大学と連携した子育てイベントの開催
- 防災拠点として防災ヘリポートを兼用した広場、非常電源、災害用トイレ等の整備
- DMO活動拠点(事務所)、市民自治活動の場として多目的施設の整備、屋外広場内に電源・水道の整備